

2009年活動報告

2010. 2. 11

FLB 第19回総会

「びわ湖よしよしプロジェクト」と「魚ののぼれる川づくり」を柱に、活動のさらなる発展をめざす。

- 1、「びわ湖よしよしプロジェクト」継続。
7年目の実験を成功させ、琵琶湖から全国に発信する。
===中浜の補修、ジャスコ子供G、JIKAなど見学体験
- 2、「魚ののぼれる川づくり」継続。
7年目となり、「箱型魚道」の他河川での設置と、行政や他団体へ普及する。
===ジャスコ子供G、JIKAなど見学体験
- 3、石組みの川復活プロジェクト
5年目となる「石組の川復活プロジェクト」を発展させる。
===大道川300メートル補修完成
- 4、県内すべてのダム計画の中止を含む見直し。
国の3ダムと県の3ダムの中止と見直しをさらにすすめる。
===嘉田県政で中止方針、8月政権交代でダム中止へ
- 5、健全な水辺利用を取りもどす活動の継続、実効のある琵琶湖レジャー条例見直しを求める。
===県の取り組み弱い。
- 6、学習会、現地調査会の実施。
琵琶湖・水辺の調査を実施する。
===8月舟で水辺調査
- 7、研究者、学生、子供との交流・協力をすすめる。
行事への研究者、学生、子供の参加をすすめる。
===ウエットランド研究会、ジャスコ子供G、JIKAなど見学体験
- 8、行政への要請、提案、協力をすすめる。
自然環境の課題について、要請、提案、協働を行なう。
===水上バイクで県に要望書
- 9、企業への要請、提案、協力をすすめる。
企業に対しても、要請、提案、協働を行なう。
===ジャスコ
- 10、環境NGO・NPOとの交流、連帯、協力をすすめる。
横の連携を広げる。
===大津みどりのNPO、比良の里人、琵琶湖市民大学、ウエットランド研究会、県西地区造園協会
- 11、ゴミ問題の解決のための取り組み
資源を大切にす循環型社会を目指し、ゴミ行政の根本的な見直しをすすめる。
===
- 12、2006年に誕生した嘉田県政を支える一翼を担う。
自然・環境重視の施策の一層の発展を図る。
===対話の会の活動を通じ、嘉田県政の一翼を担う